

令和元年度日本小児外科学会
第5回定例理事会議事録

日 時：令和元年 10 月 16 日（水） 10：00～14：00

会 場：大阪国際交流センター中会議場銀杏

出席者：田尻達郎（理事長）、増本幸二（副理事長）、山高篤行（会長・理事）、黒田達夫（次期会長・理事）、臼井規朗、金森 豊、野田卓男、浮山越史、大植孝治、田中 潔（以上理事）、窪田正幸、八木 實（以上監事）、越永従道（前理事長）、藤野明浩（庶務委員長）、浦尾正彦（財務会計委員長）、照井慶太（庶務副委員長）、上原秀一郎（財務会計副委員長）、宮野 剛（庶務委員）、小野 滋（専門医認定委員会委員長）、古村 眞（専門医制度庶務委員会委員長）、米倉竹夫（第 35 回秋季シンポジウム会長）、廣部誠一（第 36 回秋季シンポジウム会長）、仁田尾慶太（事務局）

欠席者：米田光宏（施設認定委員会委員長）

議事案件：

議 事：

1. 第5回定例理事会の議事録署名人は、野田卓男理事、田中 潔理事とした。
2. 米倉竹夫会長より第35回秋季シンポジウムについて開催準備状況が報告され、了承された。
3. 令和元年度第4回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。

4. 審議事項

- 1) 第 57 回学術集会について（山高会長、宮野庶務委員）

山高会長および宮野庶務委員より資料に基づき、進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和 2 年 5 月 21 日（木）、22 日（金）、23 日（土）

会場：都市センターホテル

テーマ：小児医療システムの擁護と支援：子どもが最初、いつだって

- 2) 第 58 回学術集会について（黒田次期会長）

黒田次期会長より、進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和 3 年 4 月 28 日（水）、29 日（木）、30 日（金）

会場：パシフィコ横浜ノース

テーマ：自然の臣たる無かれ

- 3) 第 36 回秋季シンポジウムについて（廣部次期秋季シンポジウム会長）

廣部次期秋季シンポジウム会長より資料に基づき、進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和 2 年 11 月 7 日（土）

会場：一橋講堂

テーマ：手術の新しいデバイスと工夫

4) 第 37 回秋季シンポジウムについて (金森次々期秋季シンポジウム会長)

金森次々期秋季シンポジウム会長より、進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和 3 年 10 月 30 日 (土)

会場：ベルサール神田

テーマ：小児外科疾患に対する再生医療・細胞療法研究と応用

5) 各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会 (藤野委員長)

藤野委員長より、資料に基づき報告がなされた。

2019 年 9 月末現在の会員数は、評議員を除く正会員 1,743 名 (うち海外 1 名)、評議員 324 名、名誉会員 57 名 (うち海外 5 名)、特別会員 70 名 (うち海外 1 名) の合計 2,194 名である。

(2) 財務会計委員会 (浦尾委員長)

浦尾委員長より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・専門医制度システム保守・管理業務に関する覚書が提出され、承認された。
- ・平成 16 年から平成 30 年までの正味財産の増減についてのグラフを作成し、50 周年以降は正味財産が増加していると報告された。
- ・事務局の学会支援機構から、消費税 10%の通告があった。
- ・10 月から消費税が 10%になったことに伴い、日本小児外科学会雑誌の販売価格 2,200 円 (税込) から 2,300 円 (税込) にしてはどうかと提案があり、承認された。

(3) 専門医制度委員会 (小野専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長)

小野専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・今年の施設認定委員会の認定状況として、認定施設 94 施設、教育関連施設 A57 施設、教育関連施設 B43 施設である。
- ・特定教育関連施設について、NCD とロジックについて検討中であることが報告された。
- ・規則改訂案について、専門医・指導医更新の学術集会参加歴について、最近 5 年間の定義が曖昧であったため、認定年の前年の 1 月 1 日から申請締め切りの 8 月末までの間の計 5 年 8 か月としたと報告された。なお、重なる期間については 2 回申請が出来るように、手引きにその点について記載をすることとした。
- ・NCD を利用した研究で、専門医の情報等が使えるように規則の見直しをしてほしいと依頼があった。
- ・小児外科専門医更新時の症例について、外科専門医修練カリキュラム 到達目標 3 の外傷のみなどの手術は更新として認められていないので、開業医の方が更新できない状

況にあると報告があり、開業医の先生でも小児外科専門医の更新ができるように検討をしていると報告され、連動更新の外科学会にも改めて内容の確認をすることとした。

- ・指導医申請における海外での経験症例について、申請書のフォーマットを検討していると報告された。

(4) 機関誌委員会（大植担当理事）

大植担当理事より、以下の点について報告・提案がされ、承認された。

- ・J-STAGEに掲載されている日本小児外科学会雑誌の月間ランキングが腫に関する記事が上位を占めている件について、J-STAGE側に申し入れをして、ランキングを非表示にしてもらったと報告され、これは一時的な措置のため、今後委員会でどのようにするか引き続き検討をすることとした。

(5) 国際・広報委員会（田尻担当理事）

田尻担当理事より、以下の点について報告・提案がされ、承認された。

- ・今月中にWeb会議を開催し、「小児外科医を目指す方へ」「小児外科専門医のいる病院」のページについて検討を行うと報告された。「小児外科専門医のいる病院」については、専門医制度委員会とも内容を確認して進めることとした。
- ・各委員会に要望をヒアリングして、内容の拡充を図ることとした。

(6) 保険診療委員会（浮山担当理事）

浮山担当理事より、以下の点について報告・提案がされ、承認された。

- ・前回理事会で継続審議となっていた大建中湯の不採算品再算定について、ツムラからヒアリングを行い、大建中湯の不採算品再算定願を理事会から提出することが承認された。

(7) 教育委員会（大植担当理事）

大植担当理事より、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・PSJM時の委員会で、来年の卒後教育セミナーの草案を作成する予定であると報告された。

(8) 悪性腫瘍委員会（大植担当理事）

大植担当理事より、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・2018年度の小児がん登録は、日本小児血液・がん学会のシステムから登録することになったと報告がされた。

(9) 学術・先進医療検討委員会（臼井担当理事）

臼井担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(10) 倫理・医療安全管理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・「高吸収性樹脂玩具の誤飲に対する注意喚起」の文章を委員会で作成中であると報告された。

(11) データベース委員会（田中担当理事）

田中担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・今年度の NCD データを利用した複数領域にまたがる新規研究課題について、委員会で承認され、研究倫理委員会の結果が未だのためそれを待って、持ち回りにて審議することとした。
- ・NCD データ利用研究の公募研究の件、研究倫理委員会で審議し専門医制度を使う点に問題が残ったと報告された。
- ・NCD データを利用した研究の公募について、応募時期を早めてはどうかという意見が出された。

(12) 小児救急検討委員会（田中担当理事）

田中担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・台風 15 号で影響のあった千葉県について、災害対策本部は立ち上がらなかったが、千葉県内に勤務している評議員に情報提供を求めたことが報告された。
- ・9月22日、23日に PALS Provider Course が開催され3名の参加があった。参加者が少ないため、施設長宛に若手医師の参加を促すメールを配信したと報告された。本セミナーに参加される学会員への援助については、来年も継続して行うこととした。

(13) ワークライフバランス検討委員会（浮山担当理事）

浮山担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・第7回講演会を10月18日に開催し、今年も日本医師会との共催で行うことが報告された。アンケートを配布して、情報収集に努めると報告された。

(14) トランジション検討委員会（田中担当理事）

田中担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(15) 規約委員会（金森担当理事）

金森担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(16) 研究倫理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(17) NCD 連絡委員会（臼井担当理事）

白井担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(18) ガイドライン委員会（金森担当理事）

金森担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・学会主導ガイドライン作成について、進捗が報告された。
- ・既存ガイドライン改訂について 5 年後をめどにガイドライン改定グループを組織することを検討中であると報告された。

(19) 利益相反委員会（金森担当理事）

金森担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(20) 総合調整委員会（増本委員長）

増本委員長より資料に基づき、以下の点について検討を行ったと報告がなされた。

- ・正味財産増加案について
- ・成育基本法検討委員会に提出する当学会としての要望について
- ・海外における手術症例を利用した専門医・指導医育成システム作りについて
- ・学術集会のあり方について
- ・理事会のあり方について
- ・小児外科関連研究会の今後のあり方についての提言
- ・学生、若手医師のリクルート・育成するための具体的方策は何か
- ・学会としての小児外科専門医の地域ごとの適正数の検討

(21) 日本外科学会理事会報告（越永前理事長）

越永前理事長より資料に基づき、以下の点について報告がなされた。

- ・日本外科学会第 1 回学術集会の在り方ワーキンググループ

(22) 四者協報告（越永前理事長）

越永前理事長より資料に基づき、以下の点について報告がなされた。

- ・9月23日に子どもとICT、子どもたちの健やかな成長を願って委員会に参加したことが報告された。

6) 事業計画について（藤野庶務委員長）

藤野庶務委員長より資料に基づき、各委員会担当理事に内容の確認をした事業計画が提出され、承認された。

7) 日本小児麻酔学会委嘱評議員推薦について（田尻理事長）

田尻理事長より資料に基づき、日本小児麻酔学会から委嘱評議員推薦依頼が届いたと報告があり、大植理事と田中理事を推薦することが承認された。

8) 秋季シンポジウム委員会の日程について（田尻理事長）

田尻理事長より、秋季シンポジウム委員会の日程調整が毎年困難になっているため、来年からはPSJMの前日の14時から15時の間で固定することが提案され、承認された。

5. 報告事項

1) 理事長報告（田尻理事長）

- (1) 日本製薬工業協会からの寄贈本「製薬協ニューズレターNo.193」を受領した。
- (2) 日本医学会からの寄贈本「第30回日本医学会総会2019中部会務記録」を受領した。
- (3) 日本消化器外科学会からの寄贈本「日本消化器外科学会創立50周年記念誌」を受領した。
- (4) 難病のこども支援全国ネットワークからの寄贈本「がんばれ！Vol.175」を受領した。
- (5) 外科関連学会協議会からの通信文「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」を受領した。
- (6) 日本医学会からの通信文「献血血液等の研究開発等での使用に関する指針」に基づく公募の実施について」を受領した。
- (7) 日本医学会からの通信文「販売情報提供活動監視事業について」を受領した。
- (8) NCDからの通信文「National Clinical Database 設立10周年記念誌への寄稿文執筆のお願い」を受領した。NCDと関わりの深い臼井理事と文面を作成すると報告された。
- (9) 日本小児期外科系関連学会協議会からの通信文「子どもに関わる多職種のための子ども虐待初期対応ガイド」について」を受領した。意見がある場合は申し出ることとした。

2) 次回定例理事会日程の確認（田尻理事長）

次回理事会は令和2年1月16日（木）11：00～16：00 大阪大学東京オフィスにて開催することが確認された。

理事長 _____

理事 _____

理事 _____